

令和5年度の予算編成に向け

新規7項目を含む全34項目を要望!

去る9月6日に私たち会派 改革フォーラムは、令和5年度の予算編成作業に向けた政策・予算の要望書を苦小牧市長に提出いたしました。この政策・予算の要望は平成25年度から実施しており、今回で10年目となります。この間、私たちが提案した多くの項目が実際の政策や事業として実現しており、その実績に手応えを感じています。

苦小牧市は、少子・高齢化に伴う人口の減少に加え、3年間にも及ぶ新型コロナウイルス感染症拡大が様々な分野に影響を及ぼしています。加えて、ロシアのウクライナ侵攻による世界的な物流の停滞、エネルギー資源の高騰と急激な円安によって資源の多くを輸入に頼る日本では物価の上昇が続くことが予想され、急激なインフレへの緩和措置対応とともにコロナ感染症の5類相当への分類引き下げへの変更などの過渡期対応も求められています。

これらの状況を踏まえ、私たち

会派 改革フォーラムは、カーボンニュートラル、アフターコロナを見据えた地域経済対策、企業誘致等による安定的な雇用の創出、教育及び子育て環境の整備などの課題を確認しながら、行財政改革や市民の安全と安心の観点、そして何より、市民が苦小牧に住んでいて良かったと思える「まちづくり」の可能性を追求し、検討を重ねこの度の要望書提出に至りました。

引き続き、市民の皆さまのご意見をお聞かせいただき、積極的な議会議論を通じて市政に反映させてまいりますので、何かお気づきの際は、改革フォーラムの各議員にご連絡いただきましますよう、よろしくお願い申し上げます。

改革フォーラム 市政レポート

令和四年度下期号

苦小牧市議会
会派改革フォーラム市政報告
連絡先：苦小牧市旭町4-5-6
0144-32-6785



市長へ要望書を提出
左から首藤、越川、牧田、松井

しっかり聴いて しっかり考えて しっかり実行



松井 雅宏

市政報告

日頃から賜っておりますご厚情に心から感謝申し上げます。3年間に及ぶ新型コロナウイルス感染拡大の影響は市民の暮らしや地域経済のあらゆる方面に深刻な爪痕を残しています。第8波においても感染拡大を防ぐ努力をしながら、もう暫くは「ウイズコロナ」というマインドで感染拡大防止対策に努めつつ、社会・経済活動を止めない工夫が求められます。

この度、年2回発行しております活動報告紙(令和4年度下期号)を作成いたしました。多くの皆さまにご指導をいただきながら定例会のみならず、様々な機会を通じ、行政に市民の声を届け議論させていただいております。

ここでは、紙面の関係上限られた報告となりますが、右のQRコードからアクセスいただきブログ「日暮つづり」で日々の活動報告をご覧いただくことができます。また、ご希望のある方にはプリントにてお届けいたしますのでご一報いただきますようお願い申し上げます。

私にお与えいただいております5期目の任期もあと残り僅かとなりました。これからも「しっかり聴いて しっかり考えて しっかり実行」の初心を忘れずに議会活動に取り組んでまいり所存でございますので変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



こども食堂への財政支援を実現

令和2年9月議会の一般質問以降2年間にわたり求めさせていただいておりましたこども食堂等への財政的支援が国の「新型コロナウイルス感染セーフティネット強化交付金事業」を活用することにより実現することができました。市内では地域におけるこどものセーフティネットとして、複数のこども食堂さんが活動されていることは、多くの市民の知るところとなりました。この間、あるこども食堂さんからの市長への要望書提出のお手伝いや所管の委員会でも粘り強く求めてきた案件でありました。

この取り組みが、単年度に留まらないよう今後の市の取り組みについて注視してまいりたいと思っています。

苦小牧港管理組合議員として



令和2年4月から、苦小牧港管理組合議員として定例会ごとの全ての一般質問に登壇させていただいております。令和4年第2回定例会では ①ロシア・ウクライナ情勢が及ぼす苦小牧港への影響 ②令和4年7月に北海道が公表した厳冬の夜間に発生した場合の巨大津波の被害想定への対応 ③カーボンニュートラルポートの取り組み ④東港コンテナターミナル内の安全対策 ④ふるさと海岸の維持管理のあの方 について質問させていただきました。港の発展が苦小牧の発展に直結することから、今後も現場に足を運び、港湾関係者からのご意見を伺いながら港の機能強化について求めてまいりたいと考えています。

こども食堂への運営資金支援
申請期限28日 市、国の制度活用し初

苦小牧市では、令和2年9月議会の一般質問以降2年間にわたり求めさせていただいておりましたこども食堂等への財政的支援が国の「新型コロナウイルス感染セーフティネット強化交付金事業」を活用することにより実現することができました。市内では地域におけるこどものセーフティネットとして、複数のこども食堂さんが活動されていることは、多くの市民の知るところとなりました。この間、あるこども食堂さんからの市長への要望書提出のお手伝いや所管の委員会でも粘り強く求めてきた案件でありました。

この取り組みが、単年度に留まらないよう今後の市の取り組みについて注視してまいりたいと思っています。

(22.7.25 苦民)

新規項目

- 苦小牧市民文化ホールの利用料減免・助成制度
- エゾシカ被害対策の強化
- 乳幼児医療費助成の拡大
- 健康寿命延伸の取り組み
- 地域資源(ホッキ)の活用による賑わいの創出
- ウトナイ地区への新公園設置
- 実用英語技能検定(英検)受験費用の助成

実現及び方向性が示された項目

- 室内ゲートボール場の多目的化への改修
- こども食堂等への財政支援
- とまチョップポイント事業の見直し



LINE@ できいてみよう!



苦小牧のことや暮らしのことに
松井雅宏がお応えします。

回答率 100%

暮らしやまちづくりに関するあなたのご意見をお寄せください

松井雅宏事務所
〒053-0831
苦小牧市豊川町3丁目14-8
電話 72-3715 FAX 75-5181
E-mail : info@m-matsui.jp